

第 50 回 真庭市地域公共交通会議 議事録

日時：令和 8 年 6 月 24 日（水）

10 時～正午

場所：真庭市役所本庁舎応接室

1 出席者

【委員】太田会長、清水委員、小野委員、小林委員、枳折委員
橋本委員、稲田委員、王前委員、横辺委員、眞柴委員、原田委員、佐田委員
石田委員、大東委員

【専門員】小林専門員、田辺専門員、矢田部専門員、中塚専門員

【事務局】石田生活環境部長、八木公共交通対策室長、杉村課長補佐、妹島主任、若狭主事
芦川地域みらい創生課長

2 公共交通会議議事概要

（冒頭）八木室長挨拶

各委員、専門員挨拶

太田会長挨拶

太田会長：都市、山村問わず公共交通は非常に大事である。人は交流して、そして信頼が生まれてその中で、地域があり、産業がある。高齢化が進んで、今までの環境を一定程度変わらざるを得ないというなかで公共交通というのが非常に重要になってくるが、採算が合わないという問題もより生じてくる。国も時代に合わせて交通関係の法整備をしており感謝、評価しているが、時代がそれよりも先に進んでおり、その対応を的確にしていかなないと日本の少子化はますます進み、経済含め、あるいは生活の貧困含めて影響が出てくる。

役割を大きく分ければ、国レベルでやる広域交通、市町村を超えるところは県、市町村の中は自治体という役割の中で連携していくということが必要と思っている。

八木室長：これより協議事項に入らせていただく。

進行を太田会長

●審議事項

（1）令和 8 年度真庭市地域公共交通事業計画（案）について【資料 1】

真庭市地域公共交通計画の概要について【資料 2】

（2）前計画の事業評価について

1)令和 7 年度会議開催状況、前計画の事業総括【資料 3】

2)コミュニティバス「まにわくん」等の諸報告【資料 4】

3)「チョイソコまにわ」利用状況【資料 5】

4)JR 姫新線に関する取り組み【資料 6】

（3）令和 8 年度事業計画(案)について【資料 7】

「イコーデ」の利用促進について【資料 8】

**(4) 令和9年度地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統補助金)
に関する認定申請について【資料9】【別添1】**

**(5) 令和9年度地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統補助金)
に関する認定申請について【資料10】【別添2】**

太田会長：審議事項(1)について事務局より説明を。

杉村課長補佐：～一括説明～

太田会長：何かご質問等ある方はいらっしゃいますか。

意見、質問なし

★審議

太田会長：承認いただいたということありがとうございます。

分科会長を選任：稲田分科会長

稲田分科会長：住民の声を吸い上げてこの会議でいろいろ検討していく材料にしていきたいと思っておりますので
よろしくをお願いします。

太田会長：それでは分科会長の方をよろしくをお願いします。

太田会長：審議事項(2)について事務局より説明を。

杉村課長補佐：～一括説明～

太田会長：何かご質問等ある方はいらっしゃいますか。

稲田分科会長：包括支援センターとの住民主体の支えあいという訪問 B が北房から進まない原因は何でしょう
か。美甘も全く進まない。出来てもいいのにと思っていたのになかなか出来ない。包括と協力して、
経費の削減にもつながると思う。

八木室長：訪問 B については移動と密接な関係があると思っており、昨年度北房でイコーデが始まっており、その
際包括と連携し交通手段についてはこちらで用意するので訪問 B の件数も増えたらという協議をして
いる。他の所も訪問 B とか移動だけではなく移動前後の困りごととも考えていける体制は気づいていき
たいと思っている。

栃折委員：チョイソコの報告について、エリアスポンサーの推移について教えてください。

八木室長：推移としましては最初に 30 数件ありまして、その後に追加や辞めるものがありだいたい横ばい。

スポンサー協賛金として年間 200 万円くらい。エリアスポンサーの追加について SDG s 関連の企業への案内をしていく。

★審議

太田会長：承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。賛成多数により、承認されたものとします。

太田会長：審議事項(3)について事務局より説明を。

杉村課長補佐：～一括説明～

太田会長：何かご質問等ある方はいらっしゃいますか。

眞柴委員：勝山駅に空調がつくと聞いて大変うれしく思っている。設置時期と場所について教えてほしい。

妹島主任：現在、業者と契約等進めており具体的には決まってはいるが今年度中。

場所についてはコンコースと木の家具があると思うがその間に仕切りを設けてスマートストア側に設置予定。間仕切りについては扉で出入り可能にするが完全に壁を作るのではなく木の枠と透明なプレートで見通せるようにして圧迫感のないようにする。

太田会長：夏には間に合わないのか。

八木室長：最速で進めてはいるが夏には間に合わず、冬には間に合う予定。

太田会長：どうにかならないか。昨年度要望があって事前に手続して効果的な実施できるように。

眞柴委員：夏休みの間汗だらだらで待たれていてそこに間に合ったらよいと思う。

佐田委員：夏休み期間中の部活動などで多く利用する。部活動によっては姫新線に合わせた時間になっているが 12 時まで練習したら次が 1 時過ぎなので駅でご飯を食べたりしている

太田会長：そんな難しい工事ではないだろう。エアコンの発注が増えているのは分かっているけど特例として早められないか。庁舎内だと市民が怒るがこれは誰も怒らないから早く進めるように。

八木室長：パーテーション工事は時間がかかるから先にエアコンを設置して効きは悪いが設置する。

太田会長：市も早める最大の努力をしていくので、事業者も責任をもってやってほしい。

例えば、久世駅の切符売るところを車椅子が通らない状況である。兵庫県内の姫新線は相当努力

しているので一度見ていただきたい。バリアフリーは事業者の努力義務。国からの補助金もある。利用者の多い少ないではない。人権問題である。岡山県全体優しい行政を。

駅は最大限整備している。落合駅のトイレに生花を地域の方が置いてくれて掃除もしてくれている。久世駅も地域の方が掃除をしてれている。地域の方の賑わいが戻ってきている。

★審議

太田会長：承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。賛成多数により、承認されたものとします。

太田会長：審議事項(4)(5)について事務局より説明を。

杉村課長補佐：～一括説明～

太田会長：何かご質問等ある方はいらっしゃいますか。

太田会長：国も借金財政の中でやっているが、農山村に対してのバランスの問題として、もう少し交通関係の補助金があってもいいと思う。補助金の総額がだんだん少なくなっている。

矢田部専門員：幹線系統の利用状況は。

八木室長：勝山岡山線の方が主なもので、全国的にはコロナで落ち込んでいるが、この勝山岡山線については年々利用者数を少しずつだが増やして今は4万人くらい。

太田会長：蒜山の観光客もコロナ前に戻ってきた、若干増えてきた。コロナ前に戻ってない所もあるなかで蒜山は戻っている。

倉吉の鳥取県立美術館があり、来年は森芸がある。伯備線で新見に入り、真庭へ入るとお客さんが結構いる。津山線については路面がそもそも悪い。大改良をすれば相当早くなる。姫新線の姫路からのところは兵庫県が金出して大改良している。

★審議

太田会長：承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。賛成多数により、承認されたものとします。

●報告事項

(1) 湯原地域における地域医療・生活インフラ構築実証について【資料11】

芦川課長：～説明～

太田会長：何かご質問等ある方はいらっしゃいますか。

太田会長：真庭市に郵便局が 27 あるが、郵便局がなくなると本当に大変。維持、積極的に一体化していこうと思っている。まにこいん登録者数 4 万 1 千越えた。真庭市民外が 3, 4 千人いる。

真庭市では郵便局に協力いただいてお互いに W I N - W I N

地域の高齢者がこういったものを使えるのも地域の活力になる。電話だけではなく新しいものに挑戦するということが地域を変える力になる。こういう取り組みももっと進めていきたい。

湯原温泉病院とはすでにやっているのか。

八木室長：昨年の 1 2 月から食材を運んだりしている。

太田会長：逆もできないのか。湯原で作った野菜をこちらに。

八木室長：ゆくゆくはやっていきたい。

● 県からの説明事項

(1) 岡山県地域公共交通ビジョンの策定について

田辺専門員：～説明～

八木室長：長時間にわたりありがとうございました。

これもちまして閉会といたします。最後に稲田分科会長からご挨拶をお願いします。

稲田分科会長：大変ご苦労様でした。この審議をしていただいたことをもとに、これから公共交通関係者の皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

(閉会)